**カトリック**

**わり**

**１．ともにわりをにする**

すべてのとキリストにうがキリストにかれたのメンバーとしてにされるをす。

**2．ともにきする**

イエスのもたらしたをにえ、またがまれるののためともにむ。

**3．ともにつながりする**

もがそれぞれのかれた、でをき、にのにするをす。

**あいさつ**

カトリックの

✝の

この、のがしたことをからうれしくいます。わたしたちは、からびめられてというつのきなをっています。やの、なをうが、それぞれのかれたでのとしてともにんでいくために、さんのにおけるかちいからまれたこのがいとなるようしています。

すべての、にするのにかかわらず、な、、、のが「わたしはこので、のをともにんでいる」とんで、りをってえるとしてしていけますよう、「いつも　ふくいんを　ともに」みをめてりましょう。

2023128　のマリアのに

カトリック

**の**

16のわりから17にかけて、、、のにキリシタンがしてきました。がけでり、しい、のにすることによってのをした「」とばれるのグループは、のをかし、くのがしました。このにができてから400。わたしたちはどのようなをきているのでしょうか。

2012ののふりりのや2022（ウェブサイトにされています）をむと、と、どもたちやの、なの、、の、におけるのしさ、コロナによるのがとしてげられています。

に、のしたの、やをえた、インターネットの、やレベルのなど、にしたがめられています。

は、をじて、の、のにわせ、にしてきました。には、ヘブライをすたちがギリシャをすユダヤにい、さらにとっていくでのありをさせていったがかれています。とをりくがにしていく、**わたしたちもみをともにしながら、にしていきましょう**。

**について**

**とは**

のをし、そのをきるためにとしてどのようなとをってりんでいくのかという**をすもの**です（のについては、3ページの「がすこと」）。

**ができるまでの**

　2012、は、その100をうにあたってをし、そのでつのをりげました。これは、2008にでのしいをてされたをめ、したものです。これまででは、この2012のをのとしてきました。

それから10がち、も、そこにきるもきくしました。にコロナはびとのきをえました。では、「ともにむ」ことをするシノドス[[1]](#footnote-1)がわれ、たなのありをしています。そのような、2021のにわれたでされたにづき、2012ののふりり、そしてシノドスとのためのかちいがのでわれました。せられたについて2022、2023のでしい、そのりとしてこのがしたのです。**でをし、ふりり、についてしうというからまれてきたこのは、わたしたちがをるためのいになるにいありません**。

**がすこと**

**のは、「のをげらせ（）」、「をい（）」、「のをう（）」というつのめによってされます**（『は』25）。これらすべてはいにつながっていて、つもかすことができないものです。

**これらのめにとしてりむためのをすのがこののです**。それはして、「こういうときはこのようにしてください」というがいてあるということではありません。のやののは、それぞれくうのでしていますから、なをすことはできませんし、すべきではありません。むしろ、「これらのにりむにあたって、わたしたちのではどのようなでりめばいのだろう？」としい、をすためのとしてけめていただけたらといます。

**のつの**

は、「わり」「」「」という、16シノドスのテーマをとしています。これらは、のつののをすめをとしてするをえるためになをえてくれるものだからです。それぞれのにれるに、どのにもするについてします。

* つののそれぞれでは、ににりむためのなやが、にがされています。はしなければならないではなく、あくまでです。**ここにかれていることにも、やそれぞれのでできることをえてみてください**。
* で、それぞれのにわせ、つのをどのようにきていけるか**にしってください**。
* しいにあっては、の、、が、**ともにし**（がをんでおられるのかりのうちにること）、**ともにし**、**ともにそれぞれののをたしていくようにしてください**。そのためには、くことがです。とびとにをけるようがけてください。
* にあっては、として、として、がして、またやのがそれぞれりんでください。
* **をれずんでいきましょう**。するためには、バランスがれることをでをげなければなりません。わたしたちはいつでもですが、ににかれています。
* もめ、わたしたちは、いです。はそれをするです。さをするとき、**のきに**することができます。

**１．ともにわりをにする**

すべてのとキリストにうがキリストにかれたのメンバーとしてにされるをす。

1. と、と、びと（と）とのわりのうちにきていることをし、める。
2. わたしたちは、、、、、にることができるかどうかになく、がキリストによってつにされたのメンバー。のにいにからびい、いにえられ、ともにしていく。
3. のミサはわたしたちのわりの。とびととのわりをにしてにる。

には：

1. でうミサや、どもミサなど、のメンバーののかさをにかす。
2. ののをし、えばでミサにするをるなど、する。
3. うやのりやをぶ。
4. グループでみことばをし、かちう。
5. にし、えてきたのにし、のにめる。
6. 、、どもがつながりをってしていくよう、のをえてする。
7. 、、メールやウェブサイト、など、なをってわりをめる。
8. のとするをやす。でや、をう。
9. として、のびとのためにり、することをする。のびととからいわりをち、などのなにあってはけえるようえる。

**2．ともにきする**

イエスのもたらしたをにえ、またがまれるののためともにむ。

1. イエスののとによってされたのをけたわたしたちは、のたちのように、びとにをげらせるようかれている。にをえるときにこそわたしたちのはする。
2. はのであり、「わたし」のではない。のにするいでりむり、どれほどさないも、どれほどしても、がずごののとしていようにしてくださる。
3. フランシスコはわたしたちが「いていく」となるようく。はをけたすべてにえられた。どもも、も、であっても、も、それぞれのでをののできることにより、をえることができる。
4. がまれる、すなわちすべてのがにされ、とすべてのとののうちにきるなののため、にいにかれているびととともにむ。
5. のため、も、も、も、のメンバーがともにのしるしをし、ともにし、ともにそれぞれののをたしていく。

には：

1. やなどな、またでいにいるのため、のためにる。
2. でにするにりうため、でも、をしてでも、する。
3. のと、する。（、キリスト、など）
4. にするカトリック、としたなにりむ。でのへのや、へのなど。
5. にしいへとし、のにりむ。
6. 、、ウェブサイトなど、をのとしてする。

**3．ともにつながりする**

　もがそれぞれのかれた、でをき、にのみにするをす。

1. やにおける「わり」、「」に「」するありが、とともにきくしていることをし、なでできるようする。
2. のなはするためのものであることをし、に、をはじめとするのたちは、のでのイエスのにい、いにをいい、するのためにをくす。
3. のによりにることができないがえている。このようなが、それぞれのでをき、「またはがそのによってまるところには、もそのにいる」とわれたイエスとともにをしていることをする。また、ともにするためにをする。
4. やなどのでやからることのできないとも、としてのみをともにする。りやののあらゆる（び、しみなど）をにささげることはなへの。
5. さまざまなでをれているをにめ、へののうちにり、きかける。なでひとりにをける。
6. がわりのうちにむため、またするためにをう。

には：

1. がしていくにあっては、がのメンバーのにをけ、ははっきりとえる。
2. ににることができない、にどもたちとそののためにをしてう。
3. をけたばかりののためのをさせる。
4. 、、レベルでとのをする。に、やをするをめる。
5. が、のびとのとして、またはとしてにとしてする。

**わりに**

をじるには、があります。とは、にけてし、になをたすことでにれることができるものではありません。、びも、しみも、ないもともにし、にしてともにんでいくで、をきるびがまれてくることをとぶのです。わたしはこのが、としてをもってんでいくためのになればとっています。

「のであるが、によってられるあらゆるびととであなたがたをたし、のによってにちあふれさせてくださるように」（ロマ15・13）、ともにり、ともにんでりましょう。

このは、と、をはじめとするのなのかちいのりです。ともにりんでさったにいたします。これからのわたしたちのみのに、のをっています。

**り**

すべてのものをり、いにかれるよ、いのちのにしてります。

、、でなをもってきるわたしたちを、あなたののうちにさせてください。あなたのをけたわたしたちが、ともにわり、ともにし、ともにするとしてあなたをし、とののうちに、のあいだであなたのをあかししていくことができますように。

わたしたちのイエス・キリストによって。アーメン。

1. シノドスとは、や、にわるについて、からの、によって、、がまってしい、をしてをするのことです [↑](#footnote-ref-1)